

市報

とす

今号の内容

CONTENTS

県体・市郡対抗で惜しくも2位……… 2



市民健康福祉まつり大勢の市民でにぎわう……… 4

駅前に県内最大の複合商業施設開店……… 7

直木賞作家・原さん母校で語る……… 8

11月16日(日)は市議会議員選挙……… 10

11月22日(土)に井上直幸ピアノリサイタル……… 11

ご利用ください。サンメッセ鳥栖……… 12



長崎街道 やじうま帖 楽しく街道の歴史学ぶ

地域おこしイベント「長崎街道やじうま帖」が10月11日開かれ、約120人の参加者は田代昌町・追分石から本町交差点までの約4kmの行程をウォーキング。田代新町の八坂神社では茶店のほか、猿回しやバナナの叩き売りなどの大道芸も登場し、みんな楽しみながら街道の歴史を学びました。

11

平成9年 第841

1日号

位。僅差で知事杯逃す ぶりに教育長杯獲得

日・5日の2日間、鳥栖市を主会場に三
県知事杯、教育長杯をかけて熱い闘い
真を中心にこの県体を振り返ります。

県内全域から約一万三千人
が参加した今大会は、郡市対
抗の部で唐津市が四年ぶり六
回目の県知事杯を獲得。町村
対抗の部（市は中学校区）で
は見事、鳥栖中学校区が十三
年ぶり六回目の教育長杯に輝
きました。郡市対抗の部で鳥
栖市は唐津市に総合得点で一
点及ばず惜しくも第二位とな
るなど、地元・鳥栖市選手団
の健闘が光りました。

また、四日に市陸上競技場
で行われた総合開会式は、煙
火とともに麓小学校の児童百
六十三人による面浮立で開幕
しました。各市郡の選手団の
力強い入場行進、大塚光将君
（田代中三年、桜町）の炬火
点火に続き、大会会長の井本
勇知事や山下市長などがあい

さつをしたあと、選手を代表
して中島澄子さん（48歳、萱
方町）が「私たち選手一同は
第五十回記念県民体育大会に
参加できることを誇りとし、
市郡の榮譽にかけて最後まで
正々堂々プレーすることを誓
います」と宣誓。

開会式のあと、緑が映える
フィールドでは鳥栖商業高校
ダンス部と千代田西部小学校
マーチングバンド部がすばら
しい演技と演奏を披露して県
内各地から集まった選手たち
を歓迎、大会に花を添えまし
た。

なお、開会式に続いて地域
スポーツの普及振興に貢献さ
れた県体育協会体育功労者表
彰も行われました。

被表彰者と大会各競技の成
績は次のとおりです（市内の
被表彰者と市内三位入賞者の
み・○内は順位、敬称略）。

【体育功労者】鶴田鉄之
助（60歳、神辺町、市バスケ
ットボール協会役員）▽山下
淳（55歳、古賀町、田代地区
体育協会役員）▽古賀昇（65
歳、布津原町、市陸上競技協
会役員）▽故・横田十士夫
（享年53歳、布津原町、市バ
レーボール協会役員）

【大会各競技成績】■陸
上Ⅱ総合③鳥栖西▽男子40
歳未満千 m ③古川昌道▽同
走り高跳び③上松健次▽男子
30歳未満百 m ①松永成且▽
同千五百 m ①山田真▽男子
23歳未満二百 m ①宮竹光▽
同千五百 m ①村田重隆▽同
走り幅跳び①森島淳英▽男子

一般四百 m リレー ①鳥栖▽
同高校四百 m リレー ①鳥栖
西▽女子小学四百 m リレー
③鳥栖西■バレーボールⅡ
一般女子②基里▽レディース
シニアA③田代▽壮年男子B
③鳥栖■ソフトテニスⅡ成
年男子①鳥栖■軟式野球Ⅱ
壮年男子②田代■ソフトボ
ールⅡ一般男子③鳥栖▽壮
年男子B③田代▽実年男子B
③基里■剣道Ⅱ少年（中学
生）②鳥栖▽女子③鳥栖■バ
スケットボールⅡ一般男子B
①鳥栖▽一般女子B②鳥栖
相撲Ⅱ少年（中学生）①鳥
栖西③鳥栖■バドミントンⅡ
一般女子②鳥栖■ゲートボー
ルⅡ60歳以上男女混成B②基
里▽同混成C③鳥栖西■サ
ッカーⅡ親子③鳥栖



力強く入場行進する鳥栖市選手団



麓小児童163人が開会式前のアトラクションで面浮立を披露



出場選手を代表してバレーボールの中島澄子さんが選手宣誓



第50回記念 県民体育大会

鳥栖市 市郡対抗で2 鳥栖校区は13年

第50回記念県民体育大会が10月4
養基郡・神埼郡の41会場で開かれ、
が繰り広げられました。今号では写



相撲・少年（中学生）では鳥栖西が優勝、鳥栖が3位に

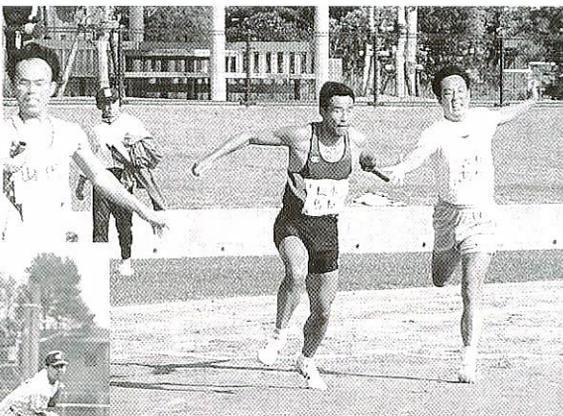
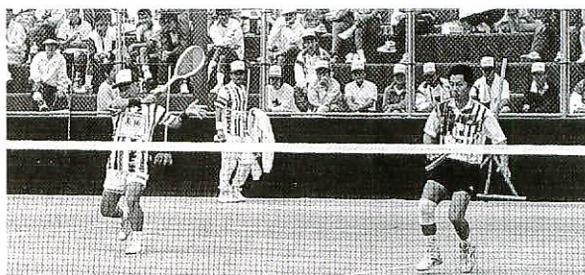


華麗な演技で開会式に花を添えた鳥栖商ダンス部



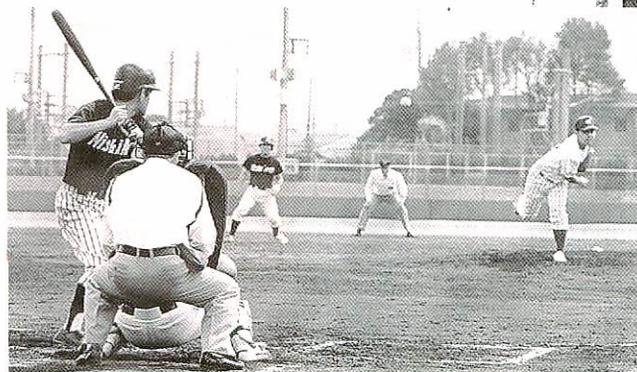
バレーボールは一般女子で基里が2位、レディースシニアAで田代が3位、壮年男子Bで鳥栖が3位と大健闘

ソフトテニス・成年男子で優勝を果たした鳥栖



陸上・一般400mリレーで優勝した鳥栖。総合では鳥栖西が3位に

機敏な動きと小気味のよい演奏を見せた千代田西部小マーチングバンド部



軟式野球・壮年男子では田代の連覇ならず。惜しくも2位

第13回市民健康福祉まつり

1万1千人が健康と福祉を再認識

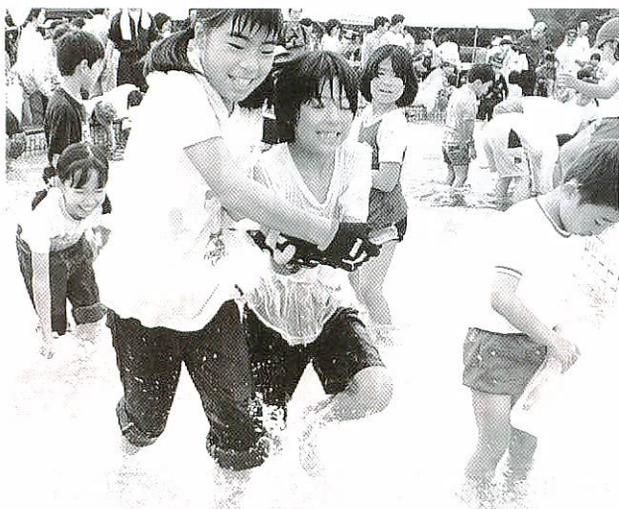
「めざせ！健康 広げよう！ふれあいの心」をスローガンに、第十三回市民健康福祉まつりが十月十九日、市民公園一帯で開かれ、約一万一千人の市民が訪れにぎわいました。

午前十時から多目的広場で行われた総合開会式では、国民健康保険健康家庭と習字コンクール入賞者の表彰式など

を行った後、健康や福祉に関する多彩な催しがスタート。



「ヨイショ、ヨイショ」と元気よくかけ声とともに力をこめて綱を引く参加者（大綱引き大会）



ウナギを捕まえプールで大はしゃぎ（魚のつかりどり）

市民体育館で行われた保育園児と父母が一堂に集う「親子ふれあい体操」で、お父さんらは園児を高々と抱え上げるなどして、日ごろ疎遠になりがちな親子のスキンシップを深めていました。この後、バウンドテニス、インディアカ、ラージボール卓球など、最近一部で普及しはじめたニユースポーツを紹介。市民球場でもベタンク、グラウンドゴルフなどのニユースポーツが紹介され、参加者は気軽に体験しました。

市民文化会館や中央公民館では、市老人クラブ連合会に

健康家庭 習字コンクール 表彰おめでとう

健康家庭のみなさん

国民健康保険健康家庭は過去三年以上（特別表彰）または過去一二年間（普通表彰）世帯全員が健康で保険の給付を受けず、しかも国民健康保険税を完納している世帯が表彰の対象で、今年には二百八世帯が表彰を受けました。

なお、普通表彰は世帯の人数により一級（五人以上）から三級（一人または二人）までに分かれていきます。

氏名は世帯主名（敬称略）です。

◆特別表彰（三十六世帯）

- 【轟木町】西山澄子【元町】金澤正司【本町】久光サトエ、水田秀子【藤木町】居川修、永松タツ子【今泉町】和田佳津子【真木町】齊藤末子【古野町】江頭藤雄【養父町】上

野町【池尻有三郎【今泉町】貞島正善

◆三級表彰（百六十七世帯）

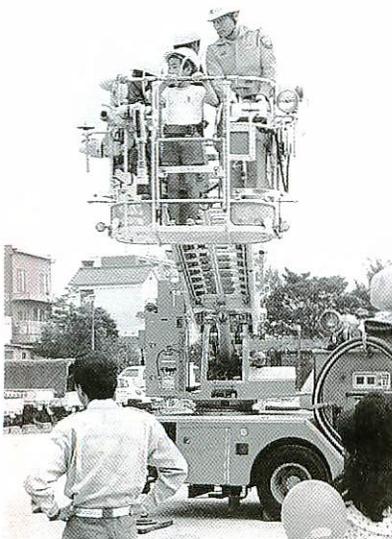
- 【轟木町】今村セツ子、桑原安子、野口行男、日高利雄、豊川泉、野下欣志、中野善次、宮崎まゆみ、長妻信行【元町】小山田昌子、桑原逸子、東美與子【秋葉町】高島シヅ子、森川佳代子【本町】園田タマコ、山下照二、益樂治【本島】栖町【勝田敏幸、佐藤砂江、寺崎木一郎、徳淵謹次、永家里美、野下嘉雄、野口好入、堀光雄、榎静子【藤木町】川崎道俊、島實貴、松隈ヨシ子、倉成正和【今泉町】井上秀男、緒方忠男、片田晴司、福田忠士、宮原敦子、山本戒、岩戸好子、中島兵三【真木町】手島辰雄【高田町】田中マス【水屋町】松隈道彦【東町】八谷シヅエ【大正町】豊増登美子【古野町】瀬田武久、橋

よる老人福祉大会をはじめ、ふれあい映画祭・コンサート、趣味の作品、習字コンクール、赤ちゃん写真の展示会や「高齢者疑似体験セミナー」が行われました。

今回初めて行われた疑似体験セミナーは、八十歳を超えたお年寄りが経験する体力、視力、聴力の衰えを補助具を使って実体験するもの。体験した市内の四十歳代の男性は「目や耳の不自由さは想像以上に大きい。お年寄りが日常生活で大変な思いをしていることが分かりました」と話していました。

市民体育館前で行われた魚のつかみ取りでは大勢の父母らが見守る中、ちびっ子はビニール袋を片手に冷たい水に膝までつかって歓声を上げながらウナギや金魚、コイなどを追いかけてきました。

また、大綱引きには友人や



空高くあがったゴンドラからは会場を一望に（ハシゴ車体験試乗）



「お口を大きくあけて」と歯科衛生士から歯みがき指導を受ける子ども（歯の健康コーナー）

家族連れなど合わせて百人が参加。秋晴れの下、かけ声とともにさわやかな汗を流しま

した。多目的広場では、家族や友人とはしご車に乗り空高く上

がったゴンドラから会場を一望。

会場のメインストリートに並んだテントでは、健康、栄養、年金、はり・きゅうなどの相談コーナーや薬、歯、応急手当で、点字などの指導コーナーが並び、実際に子どもの手をとって指導する歯科医師や歯科衛生士の姿が見られ、血液型判定コーナーではしかめ顔で耳から血液を採取される子ども。このほか野菜、牛乳、おにぎり、手作り品など多くの販売コーナーも並び多くの市民でにぎわいを見せ

本君江、和田芳明【鎗田町】齋藤陽子、永野知枝【土井町】布廣寛、権藤春代【布津原町】尾川忠幸、舛尾開蔵、吉田昇【京町】伊東ヒサ子、鳥飼泰生、江崎比呂志【宿町】小松勝、平川百合子、平川侃、佐藤恵美、都留明美、佐藤ますみ【田代本町】石橋春光、権藤牧世【田代外町】岩橋真嗣、鹿毛キミエ、松尾シマノ、山田民【田代大官町】重松國利、中富正義【永吉町】城戸ふちへ、黒田政義【今町】鹿毛保幸、戸渡政彦、箕原高【楯比町】埋金俊文、梁井正澄【神辺町】岡田静子、成富トモカ【古賀町】権藤民一、原邦夫、古川道子、松原卓己、龍頭弘行、江崎千鶴子【浅井町】徳

瀧環、緒方徳三【葦方町】江永次男、諏訪政行【加藤田町】津田修、高橋ノブ子【酒井西町】日山巖【酒井東町】西山アサヨ【曾根崎町】田中三重子、天本好一、大澤博、蒲原正俊、最所博、田岡アキエ、手島タケヨ、戸宮藤枝、永松昭彦、野下巨、樋口武己、松雪茂則【飯田町】高尾玉枝【原町】久保山ミツヨ、佐藤トメ、榎三郎、原田松兼【姫方町】酒井忠教、中村マサエ、藤本琢磨、松尾レイ子、望月均人【桜町】久保嘉道、権丈ミツエ、古賀モモヨ、小林正行、松雪ミドリ、山田傳【松原町】谷崎登志子、榎四郎、本村宣彦【歳上町】松隈國吉【養父町】築田一紀、志戸岡宏一【牛原町】山田泰子【山浦町】今福保文、大馬マツヨ、竹下シツ子、建山美智子、吉山喜久夫、鍋田ヒトエ、岩崎博【原古賀町】丸野徳行【平田町】永戸政治、西山正廣、廣重タケヨ、福島守義【立石町】岩下時春、栗山繁、原野正臣【江島町】用害美好、上田照男、黒木義太郎、濱田光昭、間延夫、上田雄一【村田町】川野綾子、重富延彦、森永宏、山崎ミツ子、川本信夫、平塚敏人【儀徳町】古賀進一【前田町】内田覺、竹崎菅城【西田町】田中哲夫、原邦一、彌永美枝子【幸津町】大住為義、中野アヤコ【下野町】大石文彦、成富邦男、久富和子【三島町】古賀チエ子

習字コンクール入賞者

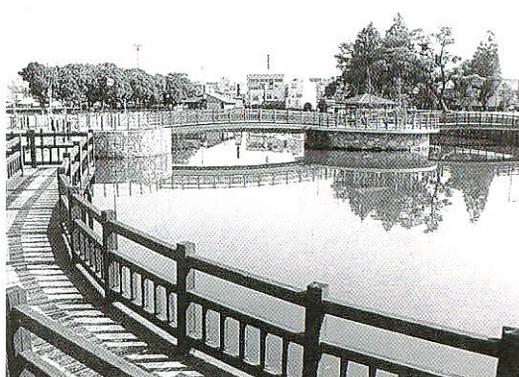
習字コンクールには小学生のみなさんから五百一点の作品が寄せられました。たくさん応募ありがとうございました。

入賞者は次のとおり（敬称略）で、入賞作品は十月二十一日から同二十八日まで、図書館ロビーに展示しました。

【一年生】金賞Ⅱ豊増竜治（旭小）▽銀賞Ⅱ原由記子（同）畑島光（同）▽銅賞Ⅱ

東豊（同）廣尾拓則（同）立石重里沙（麓小）【二年生】金賞Ⅱ江崎理奈（旭小）▽銀賞Ⅱ中島由里恵（同）山下智由美（鳥栖小）▽銅賞Ⅱ中村明日華（麓小）高尾亜紀（鳥栖北小）笹島寛子（旭小）【三年生】金賞Ⅱ立石恵理奈（麓小）▽銀賞Ⅱ宮原舞（旭小）東由衣（同）▽銅賞Ⅱ江崎布佑子（同）渡辺真理（麓小）松隈未希（鳥栖北小）

【四年生】金賞Ⅱ原祥隆（旭小）▽銀賞Ⅱ篠原麻美（麓小）有家千尋（旭小）▽銅賞Ⅱ永野樹（同）山下友梨奈（鳥栖小）立石由里香（麓小）【五年生】金賞Ⅱ原恵亮（旭小）▽銀賞Ⅱ藤竹映莉子（麓小）大石汐莉（旭小）▽銅賞Ⅱ緒方智博（同）豊増一彦（同）河合智也（同）【六年生】金賞Ⅱ原裕一朗（旭小）▽銀賞Ⅱ原ももき（同）今井綾美（麓小）▽銅賞Ⅱ大石有華（旭小）畑島由佳（同）江崎朱美（同）



昼時は芝生の上にお弁当を広げる若者や親子連れの姿も見られるようになった中央公園

中央公園が市民の憩いの場に

あずま屋など設け、親水施設整備

平成三年から工事を進めていた中央公園の整備がこのほど終了しました。

中央公園は市街地の中心部に位置し、商店街などとも近く、家族連れなど市民に広く親しまれていることから水辺レクリエーションの場として親水施設を中心に整備しまし

た。池の浚渫工事を行うとともに、護岸は山鹿石で石積み、池の中央には中の島を設けています。中の島にはあずま屋を設置。すぐ横に水辺まで降りられる階段をつけ、気軽に水と親しむことができます。また園内にはカエデやツツジ、サクラ、ケヤキ、サザン

カなど高木、低木四百七十七本を植栽。園路はカラー舗装で、デッキや柵などにはふんだんに木材を使い、全体にぬくもりを出しています。

公衆トイレも新たに建設。利用者が使いやすいように、小さなお子さんとお母さんなどが一緒に利用できる親子ブースを設けるなど、明るくゆとりのあるものになっています。

なお、これから憩い

地域に開かれた施設目指して

知的障害者更生施設・若木園落成

知的障害者更生施設「若木園」の落成式が九月二十五日、福祉関係者や園生ら約百五十人が出席して行われました。

同園は社会福祉法人若楠

(横尾英彦理事長) が生活自立のための訓練などを行う施設として建設したものです。

式典では横尾理事長が「入所者が家庭的な雰囲気の中で

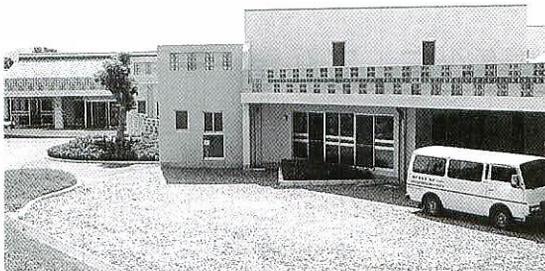
明るく楽しく過ごせるよう支援し、地域に開かれた施設にしたい」とあいさつしました。

建物は山浦町公民館から西へ約四百mほど上った小高い丘の約一万三千㎡の敷地に鉄筋コンクリート造平屋建て、広さ二千二百六㎡。二人部屋三十五室のほか食堂、作業訓

練などを行うプレイルーム、男女別々のふれあいホールなどを備え、四人分のシャートステイ(短期入所)用個室を確保。冷暖房完備で居室はすべて南向き、床は段差をなくした全面板張りにするなど、居住環境に配慮しています。入所者は主に県内の十五歳

以上の重度の知的障害

者で、定員七十人。竹のしゃもじ作り、じやがいの栽培、おしほりの袋入れなど個性に合わせた訓練のほか、買い物や神社掃除など社会体験学習を行っています。



入園者の居住環境にも配慮している若木園

えっ！スタジアムで映画上映

星空の下、2日間で1500人が鑑賞

「キネマDEスタジアム」と銘打った野外映画会が十月十日・十一日の両日、鳥栖スタジアムで行われ、約千五百人が星空と月明かりの下で迫力ある映画を楽しみました。

これは鳥栖スタジアムを運営する地域振興財団がいつもと違った形で同スタジアムに親しんでもらおうと企画したもの。当日は人気アニメ「となりのトトロ」や「ジュマンジ」

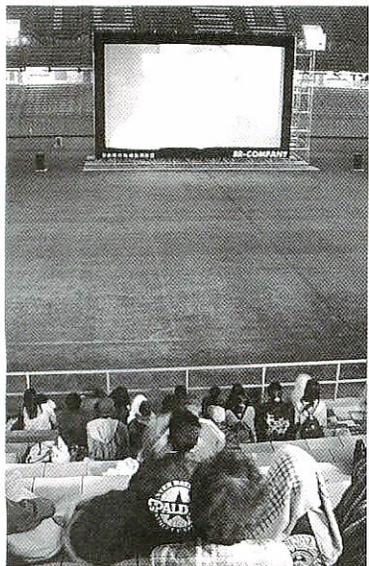
など子どもから大人まで楽しめる作品を上映しました。

縦十二m、横十八mの九州一といわれる巨大スクリーンをフィールド中央に設置。周囲が暗くなった午後六時すぎから映画の上映が始まり、家族連れやアベックなどが弁当やお茶を手に、五十mほど離れたメインスタンドから臨場

感あふれる映像と音響を満喫していました。

家族四人で鑑賞した橋本洋子さん(36歳、今泉町)は「少し寒かったが、料金も手ごろで画面も音も迫力があり十分楽しめました。ただ、字幕の映画は小さい子にはわかりづらかったかも」と話していました。

約1,500人がフィールドに設置された巨大スクリーンで映画を鑑賞



国際ボランティア貯金で

開発途上国の人々に愛の手を

「国際ボランティアの集い」が十月十四日、サンメッセ鳥栖で行われました。

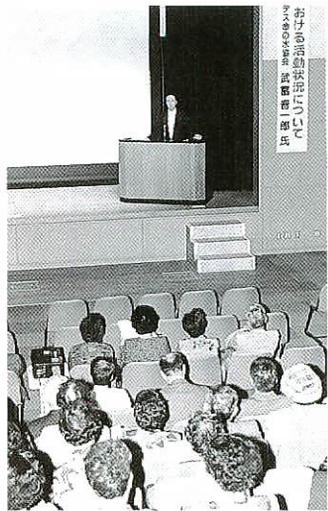


初日、開店を待ちわびる買い物客と車であふれる正面入り口前の駐車場

この集いは、国際ボランティア貯金への理解と国際協力の必要性をアピールしよう

と鳥栖地区国際ボランティア貯金推進協議会や市内郵便局などが開いたもので、約百二十人の市民が参加。ペルーで飲料水確保のための水道の建設を進めている佐賀市のボランティア団体「ア ندス命の水協会」代表の武富晋一郎さんがペルーでの活動状況や過去の歴史、人々の暮らしなどを報告しました。

国際ボランティア貯金は郵便局の通常貯金の利子の二



ペルーでの活動状況などを報告する「ア ندス命の水協会」代表の武富さん

〇%を基本に、開発途上地域の人々の福祉向上のために寄

付する貯金です。みなさんから寄せられた寄付金は民間海外援助団体（NGO）を通じて、食料・医療援助をはじめ、学校建設、植林などさまざまな分野で役立てられています。昨年度は五十七カ国に約十六億円を配分しました。同貯金にご協力いただける方は、最寄りの郵便局の窓口へお越しください。

駅前にも県内最大の複合商業施設オープン 中心商店街の活性化に期待

県内最大の売り場面積を持つ複合商業施設「ジョイフルタウン鳥栖」が十月七日、鳥栖駅前にオープンしました。開店前のセレモニーでは山下市長が「今後は夢があふれる交流広場として商店街と共存共栄を図りながら、さらな

る発展を願っています」と祝辞を述べました。午前十時の開店と同時に、徹夜組を含め、待ちわびたおよそ一万二千人の買い物客が店内へとなだれ込みました。同店によれば初日だけで鳥栖市の人口に匹敵する約五万

人が詰めかけたといわれています。駐車場には久留米、福岡ナンバーの車をはじめ、熊本、大分ナンバーなど県外ナンバーの車が目立ち、オープンセール期間中は周辺の道路も終日混雑が続きました。大型店の郊外への出店が進む中で、ジョイフルタウン鳥栖は、市中心部の日本たばこ産業鳥栖工場跡地約八万㎡に立地。その広域集客力を生か

した中心市街地の活性化が期待されます。本通筋商店街のある店主は「これまで来なかった新しいお客さんがこれだけ集まってくる。これを千載一遇のチャンスととらえ、このうちの十人でも二十人でもいいから商店街の方に引き込むよう努力しなければ」と商店街の活性化に期待しながら、自らの気を引き締めていました。

地域ぐるみで児童を犯罪から守る

市内175カ所が「110番の家」に

子どもたちが通学途中などで犯罪に巻き込まれそうな場合の緊急避難場所となる「子ども110番の家」の発足式が九月二十六日、市役所会議室で行われました。

発足式には防犯協会やPTA連合会、鳥栖警察署、学校などから関係者約七十人が出席。仁田利勝助役から「110番の家」となる協力者にステッカーが手渡されたほ

か、協力者を代表して麓地区区長会会長の藤岡清人さんが「子どもたちが安心して通学できるように積極的に協力したい」と決意を述べました。「子ども110番の家」は地域ぐるみで子どもたちを犯罪被害から守ろうというもので、今回、市内十一小・中学校通学路沿線の商店や事業所、昼間在宅する一般家庭百

七十五カ所に設置。家や事務所の表には、子供たちに分かるように、黄色地に黒文字で「子ども110番の家」と書かれた縦四〇cm、幅一二cmのステッカーが張り出されています。県内では佐賀市や小城町が校区単位で設置していますが、市全域で設置するのは鳥栖市が初めてとなります。



ステッカーが張られた本町の事務所の前で警察官から「子ども110番の家」について説明を受ける鳥栖小の児童

直木賞作家、母校で語る

原 寮 さん(50歳、東町)

「人前で対談したのは今回が初めて。初体験で緊張しましたが、楽しかったですね」
鳥栖中学校創立五十周年事業として十月十五日、同中O



Bの高尾平良さんと母校の生徒を前に対談しました。

鳥栖小、鳥栖中を経て九州大学文学部を卒業後、上京してジャズピアノリストへ。ジャ

ズでは思うようにいかず、映画の助監督やシナリオライターも経験しました。

「自分の納得のいくシナリオを書いても、映画化されなければ意味がない。シナリオを小説の形にして自由に書いてみよう」と

思ったのが小説家へのきっかけ。

あんひと こんひと

63

これまで長編小説三冊、短編一冊のほかエッセイ集一冊を出版しました。長編はハードボイルドの沢崎探偵シリーズで、二作目の「私が殺した少女」で直木賞を受賞。

「世の中は考えているほどつまらなかつたり、厳しいということはありません。世の中や将来をなめなければ、世間もあなたに関心を持ってくれます」と後輩へアドバイスしました。

「前もって小説の構想を練ることはありません。一行書いては考え、考えついたら書くといった具合。途中で、読み返すこともあるので執筆には時間がかかります」

「鳥栖は田舎でもなく、都会でもない。そんなところが気に入っています」

農業

新時代

78

「レッドキャベツの収穫期間を生かし複合経営。作付け拡大も視野に」

「レッドキャベツは、米麦の繁忙期と重複しないので、米麦との複合経営が楽にできます」

八坂照夫さん(40歳、真木町)は、米麦、肉用牛のほか野菜を栽培する大規模複合農



「レッドキャベツの価格は八坂さんより高い」と話す八坂さんは、レッドキャベツの特長は圃場での貯蔵性が高く、収穫期間が長いこと。米や麦の管理の合

い間に収穫、箱詰め、出荷をしています。

八、十二玉を十kg入りの段ボール箱に詰めて、農協選果場に出荷。集荷されたレッド

キャベツは福岡、北九州、鹿児島へ送られ、主にレストランの野菜サラダなどに使われています。

市内でこれを栽培している農家は二十数戸ですが、その作付けと出荷量は県内一。

「全体的に供給の多いキャベツやレタスに比べるとレッドキャベツの値段は比較的高く、安定しています。今後さらに高値になれば、まだまだ規模拡大したいですね」

55 民生部市民課 国民年金係

萩原 美由紀



国民年金係では、国民年金の加入や種別変更の届け、老齢・障害・遺族基礎年金の請求等を受け付けているほか、保険料納付や年金受給に関する相談もお受けしています。年金受給はみなさんが持つ大切な権利です。自分や家族のため、そしてみんなのために公的年金制度に対するご理解とご協力をお願いします。

「生きた宝」

敬老の日を前に九月三日高齢者慰問を実施。最後に私は蔵上町の松隈ケイさん(99歳)を訪問。ケイさんはきちっとした身形で迎えていただいた。御家族を含めた歓談の中でケイさんが「昔習った歌ばうたいまっしょか」と言っています。曲は鉄道唱歌の曲、歌詞は鳥栖市に合併前の麓村の地名や歴史を網羅したもので、十六

番までの長い歌を見事に歌って下さった。小学生の時に習ったと言われたが、その記憶力としっかりとした発声に感動を了承して貰って帰庁した。そして九月十五日私が麓地区敬老会式典会場に到着すると、公民館の理事さんが、私が探していた麓村鉄道唱歌の歌詞を届けて下さったのである。それは、牛原町の林繁作

氏(明治25年3月生)が麓小学校四年の時担任の島内丈夫先生から習ったといわれる(明治34年ごろの歌か)……このそえ書のある十六番迄の歌詞。この歌を聞かせて下さった松隈ケイさんも明治25年生まれ、しかし証人の林繁作さんが既に昭和59年に故人となられたことを私は後で知る事になる。ともに遊ばないさ来たれ北にそびゆる 九千部山

南に人家 六百余
東西長き 麓村
名さえさやかにさらさらと
中を流るる 精川
もとは対馬と 佐賀藩の
境を分けし 水とかや
筑紫御坊の跡ときく
名もしたわしき 養父の里
壬生春城の 古跡あり
西に道庵 二、三軒
御前の川の岸づたい
登れば 大野治長が

落ちて来たりし 跡ときく
牛原河内に つきにけり
雲にそびゆる勝尾城
前に連なる つづら城
昔 筑紫広門が
たてこもりたる城の跡
史実をもとに制作され歌い
つがれた郷土の名歌を私達は
美しい自然と共に後世に引き
継がねばならぬ。その日の敬
老会で私は「老人は生きた宝
である」と強調した。(山下)

五月に佐賀市で十五チームが参加して行われた県さわやかスポレク祭のバウンドテニスで優勝し、十一月十六日・十七日の両日、沖縄県宜野湾市で開かれる全国スポレク祭に初出場します。

全国大会の団体戦には各県の代表四十八チームが参加。カササギからとった「カッチャン」チームは大塚一六監督のほか男女それぞれ三人ずつ



全国スポレク祭に向けて練習に励むメンバー

Viva!ビバ
スポーツ 75
第10回全国スポレク祭

バウンドテニスに初出場

六人の選手で編成。男子、女子、混合ダブルスの三チームで出場します。バウンドテニスは、十五年ほど前に日本で考案された競技。コートは一〇m×三mと狭く、ボールとラケットも軟式庭球のものを一

からラリーを含む実戦形式まで幅広く、月に一度は月例会としてリーグ戦を行い、実戦の勘を養っています。出場メンバーのひとり横尾順二さん(48歳、本町)は「大会に参加して全国の仲間と交流を深めたい。できれば上位入賞を狙いたいですね」と話します。

会社でつけた さわやかさん(55)

今泉建設(株)は明治四十三年元町に設立、昭和四十六年に轟木町の現在地に移転。鳥栖・三養基郡をはじめ県内一円で土木、建築、舗装の施工をしています。従業員は四十七人。私は請求書のパソコン入力や入札書類などの文書作成を担当。大切な書類なので、間違いのない

よう十分に注意して作成しています。趣味は四年前から習っている着付けと旅行。近いうちに、フランスのセーヌ川散策や古城めぐりをしたいと思っています。現在、健康のため久留米市のスポーツジムで軽い汗を流していますが、鳥栖にもそういう施設が欲しいですね。



今泉建設株式会社勤務
伊東 和恵さん
(27歳、今泉町)

福祉

保育所の入所申し込み
12月1日から15日まで

来年四月からの保育所の入所申し込みを十二月一日(月)から同十五日(月)まで、福祉事務所と各保育所で受け付けます。現在、入所の方で来年も引き続き入所を希望される方もあらためて申し込んでください。また、出産予定者、育休明け入所希望の方の申し込みについては別途ご相談ください。

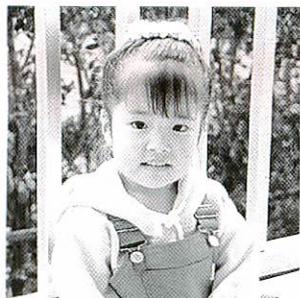
なお保育所に入所するには、一定の入所基準がありますので福祉事務所、各保育所にある「保育所入所案内」を参考にしてください。詳しくは福祉事務所庶務係(☎3553)へ。各保育所の定員などは次のとおりです。

保育所名	定員	所在地	保育所名	定員	所在地
小鳩園	105	本町	田代保育園	120	田代大宮町
白鳩園	105	原町	鳥栖双葉保育園	100	浅井町
下野園	45	下野町	慈光保育園	90	山浦町
いづみ園	90	藤木町	めぐみ保育園	105	村田町
鳥栖園	105	秋葉町			

戦没者等の遺族へ
特別弔慰金

平成七年四月一日の時点で、遺族の中に公務扶助料、遺族年金などの受給権を有する者がいない場合に、戦没者の死亡当時に三親等内だった遺族の方に特別弔慰金(額面四十万円十年償還の国債)が支給されます。

パパ撮っし(109)



友永仁志さん智子さんの長女

ま真い愛ちゃん
(2歳・鎗田町)

●ママからひと言
やさしい女の子に
なっ

水道

水道メーターを
取り替えます

水道課では、計量法に基づき有効期限(八年)に達する水道メーターを取り替えます。

◎メーターボックスの上に物を置かないでください。

◎メーターを取り替える間、水が出ません。ご了承ください。

◎取り替え月の水道料金の水量と検針のお知らせの水量が異なる場合があります。

十一月の日程は次のとおりです。詳しくは水道課(☎3538)へ。

- 12日(水) 萱方町、古賀町、牛原町、前田町
- 13日(木) 田代本町、今町、袖比町、神辺町、加藤田町、古賀団地
- 14日(金) 田代昌町、田代新町、田代上町、競馬場団地

21世紀の扉を開くのは
私たちの一票から。

11月16日(日)は市議会議員選挙

ところ ●市立図書館二階視聴覚室

なお、十月二十七日から十一月九日までは全国読書週間です。今年の標語は「読みたい本を読めばいい。読みたいように読めばいい」。

市立図書館ではおもしろい本、役に立つ本を多数用意してみなさんのお越しをお待ちしています。忙しい毎日、読書で心のリフレッシュをしませんか。

田代太田古墳 一般公開

国史跡に指定されている田代本町の「田代太田古墳」の石室内を一般公開します。

田代太田古墳は、六世紀後半に造られた彩色壁画系の装飾古墳で、一九二五年(大正十五年)に国史跡に指定され

ています。直径約四二mの大型古墳で、高さ約六mの墳丘は二段に築かれています。石室は全長約九mで、前室・中室・後室の三室からなる珍しい構造をしています。後室奥壁には赤・黒・緑の顔料と石室の岩肌(黄色)を利用した四色で、連続三角文様や人物像などが描かれています。一般開放当日は資料を配布し、係員が説明します。参加無料。

とき ●十一月二十二日(土) 午前十時～午後三時

ところ ●田代太田古墳・現地

定員 ●百二十人(先着順)

申し込み ●十一月二十一日までに電話で教育委員会社会教育課文化財係(☎3695)へ

催し

第12回市立図書館講座

市立図書館では、横山正幸・福岡教育大学教授を招き「子育てと読書―社会学の立場から」と題した講演会を開きます。入場無料。

詳しくは同図書館(☎3630)へ。

とき ●十一月九日(日) 午後一時～三時

鳥栖の町づくりと

歴史・文化講座

■第七回講座「戦国時代の城下町」

とき 十一月十四日(金)

午後七時～九時

ところ 商工会議所二階

講師 松隈嵩・市文化財保護審議会委員

参加料 無料

問い合わせ 鳥栖歴史研究会・内野武史(市教育委員会社会教育課内 ☎3695)

働きたい女性のための キャリア支援セミナー

雇用促進事業団では、再就職をめざす女性を対象に「キャリア支援セミナー」を開きます。受講無料。

とき 十二月一日(火)から十二日(金)までの八日間(土、日、月は休み)、午前十時～午後四時

ところ 勤労者総合福祉センター(曾根崎町)

内容 ワープロ講習、所得税・保険の相談、男女雇用機会均等法の講話など

定員 二十人(先着順)

申し込み 同事業団佐賀雇用促進センター(☎0952

269498)へ。

「木の十字架少年合唱団」クリスマスコンサート

県民芸術文化劇場バリ「木の十字架少年合唱団」クリスマスコンサートを開きます。

とき 十二月十一日(木)午後六時半開演

ところ 諸富町文化体育館

入場料 全席自由千円(チケットは県民生活課、佐賀市文化会館ほかで発売中)

問い合わせ 県庁県民生活課(☎0952257340)

募集

県営住宅入居者

鳥栖土木事務所では、県営住宅の入居希望者を随時募集しています。九月末の空き家状況は次のとおり。詳しくは同事務所建築課(☎4176)へ。

神辺Ⅱ 一種三戸2LK▽

麓Ⅱ 一種一戸2DK・4DK▽

▽宿町Ⅱ 一種一戸2DK▽

す。

とき 十一月二十二日(土)

午後七時

ところ 市民文化会館

演奏曲目 J・Sバッハ「フランス組曲第五番長調」▽

武満徹「ピアノ・ディスタンス」▽

▽シチューベルト「ピアノ・ソナタ第二番変ロ長調」

ほか

入場料 全席指定・前売り二千円(当日二千五百円)

問い合わせ 市文化事業協会(☎3645)

古賀Ⅱ 一種七戸3K・3DK
▽鳥栖南部Ⅱ 一種三戸3LK・3DK

「ご存じですか

秋季全国火災予防運動

火災が発生しやすい時季を迎え、十一月九日から同十五日までの一週間、秋季全国火災予防運動が実施されます。鳥栖・三養基地区消防事務組合でも期間中、広報車による防火宣伝のほか事業所への防火指導や火の元点検のサイレン吹鳴などを行います。

この機会に家庭でも火災予防への認識を新たに、大切な家族や財産を火災から守りましょう。

十二月四日から十日まで

人権週間

十二月四日から十日まで

は、人権意識の高揚を図る「人権週間」です。

法務省では「子どもの人権を守るうー育てよう思いやり

の心」を重点目標に、二十一世紀を担う子どもたちの人権を守るため「子どもの人権専門委員」を中心に、関係機関とともにさまざまな取り組みを行っています。

人権週間に機にみんなで人権について考え、誰もが幸福で生きがいのある明るい社会をつくりましょう。

暮らしに役立つ情報番組

中村あずさのなるほどTV

通産省ではテレビ番組を通して、消費者の立場に立った暮らしに役立つ情報を提供しています。番組名は「中村あずさのなるほどTV」。ST

Sサガテレビで放送しますの

で、ぜひご覧ください。放送日は次の表のとおりです。

放送日	放送内容
11月7日	体温計・血圧計の正しい選び方・使い方
11月14日	リサイクル最新情報パートⅡ
11月21日	製品事故の防止のために
11月28日	家庭における冬の省エネ
12月5日	マルチ商法のトラブルにあわないために

※毎週金曜日午前11時10分～11時25分の15分間

通信販売・訪問販売 などのトラブル相談

通産省消費者相談室では、通信販売や訪問販売などの苦情相談を受けています。お困

りの方は遠慮なくご相談ください。問い合わせは、通産省政策モニター消費者苦情相談受付窓口・福永英行(☎4932)へ。

さが県民手帳 の予約受付中

「平成10年版さが県民手帳」の予約受け付けをしています。手帳には、各月の行事予定表のほか県内観光施設の案内、官公庁の所在地・電話番号、人口統計など、仕事や暮らしに役立つ情報を掲載。

価格 大型六百円▽小型四百五十円(税込み)

配布予定 十一月下旬ごろ

申し込み 企画課広報統計係(☎3513)へ

民生委員・児童委員を委嘱

九月九日付けで厚生大臣と県知事から新たに宮原政枝さん(儀徳町)が民生委員・児童委員に、また野中京子さん(西新町)が主任児童委員に委嘱され、十月八日、市役所で委嘱辞令伝達式が行われ、山下乡長から委嘱状が手渡されました。

今後は、高齢者や身体障害者、児童、母子の福祉向上など、社会福祉の増進のため活動されます。



11月22日(土)午後7時 井上直幸ピアノリサイタル

文化事業協会では、NHKテレビ「ピアノのおけいこ」で親しまれ、国内外で活躍中の武庫川女子大学教授・井上直幸さんを迎え、ピアノリサイタルを開きます

■有料法律相談センター開設

佐賀県弁護士会では、有料法律相談センターを設置。弁護士が30分5,000円で身近な法律問題の相談をお受けします。ご希望の方は、事前に同センター（☎0952-213411）へ電話予約を。相談は毎月第1・3水曜日午後1時半～4時半、中央公民館。

■寒蘭、盆栽、万年青展示会

11月15日（土）・16日（日）午前10時～午後4時、市立図書館。鳥栖蘭香会、鳥栖盆栽会、鳥栖万年青同友会では展示会を開きます。ぜひおいでください。

■薬や医学に関する資料の提供を

中富記念くすり博物館では、田代売薬を中心に薬や医学に関する資料を収集しています。売薬用具や文書をお持ちの方や売薬行商を廃業される方、また一般の家庭でも薬の処方や配置帳の断片などを見つけたら、ぜひご寄贈をお願いします。連絡は同博物館・山下（☎☎3334）へ。

■第39回鳥栖市民大学

11月8日（土）午後1時半、市立図書館。「美しい地球を子どもたちに」をテーマに、ネットワーク『地球村』の梶原三男先生が講演します。入場無料。問い合わせは鳥栖市民大学（本通町・鳥栖新聞内 ☎☎7470）へ。

■「地球交響曲第2番」チャリティー上映会

11月24日（休）午前10時、午後2時の2回上映、中央公民館ホール。「地球交響曲ガイアシンフォニー第2番」のチャリティー上映会を開きます。午後の部は字幕付き。入場料前売り1,100円、当日1,400円。問い合わせはチャリティー上映会・小宮美枝子（土井町 ☎☎1482）へ。

サンメッセ鳥栖は、地域住民をはじめさまざまな人が出会い、交流する場として鳥栖駅のすぐ東側に設けられたものです。多くの人が安心して利用できるよう、安全を第一に設計されています。

またこのフロアには、鳥栖市内の遺跡で発掘された銅剣や銅鐸などのレプリカを常設



映画「月光の夏」やピアノに関する資料とともに1階フロアに展示されているピアノ「フツペル」

て。みなさんにより一層この施設を利用していただくために今号から施設の内容を一階から順次、紹介していきます。一階は「情報発信と憩いのスクエア」と位置づけたオープンフロア。このフロアには、ふれあい広場のほか情報コーナー、ミニシアター、喫茶コーナーがあります。中央のふれあい広場には、映画「月光の夏」で一躍有名になったピアノ「フツペル」をはじめ映画やピアノにまつわる資料を展示。ピアノは申し込めば弾くこともできます。

セメツセ鳥栖 一階は情報発信と憩いのフロア ピアノ「フツペル」を弾いてみませんか

展示。これらの埋蔵品や遺跡の発掘過程を七〇インチの大画面を備えたミニシアターで放映、わかりやすく説明しています。

また、喫茶コーナーでは軽い食事もできますので、お気軽にご利用ください。問い合わせはサンメッセ鳥栖（☎☎2121）へ。

第3回鳥栖子どもピアノコンクール入賞者

グランプリは福岡市の林さん（桐子 嗣）



グランプリに輝いた林さんの演奏

鳥栖子どもピアノコンクール本選は十月十二日、五十六人が参加して行われ、特別賞のグランプリに林紋子さん（福岡・桐朋女子高）が選ばれました。なお、各部門賞と部門賞の入賞者から選ばれた特別賞は次のみなさんです（敬称略）。

- 【幼児の部】①岡本有未（田川カトリック幼稚園）②後藤葵（福岡音楽学院附属幼稚園）③近藤有希（甘木幼稚園）【小学一・二年の部】①福田佑子（佐賀・神野小）②原百豆菜（鳥栖小）③古川和奈（菊池郡・龍田小）【小学三・四年の部】①松浦結花（熊本・帶山小）②久富友香子（大牟田・羽山台小）③松本結（佐世保・山手小）【小学五・六年の部】①本山あきな（佐世保・早岐小）②原口ゆり子（久留米・荒木小）③盛川史記（佐賀・本庄小）④中村有希（大村・旭が丘小）【中学生の部】①伊方舞（熊本・東町中）②山田絃子（鳥栖西中）③安原由未子（久留米・諏訪中）【高校生の部】①林紋子（福岡・桐朋女子高）②堀明美（熊本・九州女学院高）③大富由佳（古賀・桐朋女子高）【市長賞】松浦結花【教育長賞】福田佑子、伊方舞【フツペル賞】野下菜公子（基里小）、山田絃子

高齢者就職情報

高齢者就職相談室（市役所市民課横）では、高齢者への職業紹介や雇用相談などを行っています。現在、企業から次のような求人申し込みがあつていきます。

- 詳しい仕事の内容や勤務条件などは同相談室（☎☎3556）へ。
- ◎組立工（永吉町）：男55～64歳、11万9千円
 - ◎カメラマン（江島町）：男60歳以下、8万1千200円
 - ◎製品管理（田代外町）：男18～60歳、13万2千～15万1千円
 - ◎病院給食業務（市内）：女20～60歳、時給700～1千円
 - ◎家政婦（基山町）：女30～60歳、時給700～800円
 - ◎清掃員（市内）：女20～60歳、時給600円

ガッツ Guts サガン鳥栖

練習に市陸上競技場を使用

サガン鳥栖が十月九日、市陸上競技場で練習を行いました。これまでは佐賀市の県総合運動場が主な練習場で、地元鳥栖ではホームゲームの二日前に鳥栖スタジアムを利用する程度。市民が練習を見学し、選手らとふれあう機会は限られていただけに、市民や地元サポーターにとって試合だけでなく、より身近なチームとして応援できそうです。

市陸上競技場は九月に完成、四百メートルトラック内のフィールド部分には天然芝が張られています。十月四、五日の県民体育大会で使用されたあと、一般貸し出しが始まったことで、練習場の安定確保が課題のチーム側が要望。同球場を管理運営する市地域振興財団も当面の使用を認めました。

初練習した九日は午前十時に楚輪監督をはじめ、ほぼ選手全員が姿を現し、ストレッチ体操やランニングのあと、紅白戦などで約二時間汗を流しました。スタンドには約一千人の市民が見学を訪れ、紅白戦などを楽しみました。子どもを連れて見学に来た奥山哉恵さん（36歳、本町）と北島市子さん（39



市陸上競技場での初練習に汗を流す選手たち

歳、曾根崎町）の姉妹は「ホームの試合は毎回見に行っています。佐賀まで練習も見に行きたかったんですが、なかなか行けなくて。地元での練習は大歓迎です」と喜んでいました。

チーム側も「練習にもたくさんの方が足を運んでもらい、選手たちを激励してください。またファン層の拡大につながれば」と話しています。

サガン鳥栖の十一月の市陸上競技場での練習は次のとおり（時間は午前十時から約二時間。当面は週二回程度練習する予定です）。

都合により練習日程が変更することがあります。詳しくはサガン鳥栖FC事務所（☎0952225830）へ。
 ■十一月の練習日程Ⅱ市陸上競技場
 十三日（木）▽十四日（金）▽十九日（水）▽二十日（木）▽二十七日（木）▽二十八日（金）の六日間。

中世山城と筑紫氏

Vol.65 筑紫家家臣団 その五

引き続き筑紫氏の家臣を紹介し

宗小兵衛（少式、門与兵衛と従弟、親二郎左衛門）、宗与兵衛、宗二郎左衛門、宗六左衛門（孫左衛門子）、宗孫左衛門、宗藤左衛門、宗勘三郎、高原新兵衛、高原市右衛門、田尻茂右衛門、田尻右馬之元、筑紫源右衛門、筑紫康門、筑紫房門、筑紫晴門、筑紫大炊、筑紫八右衛門（大炊跡目）、筑紫了保、筑紫大和守、筑紫四郎右衛門、筑紫与市郎、筑紫小一郎。

このうち、宗氏は筑紫氏と同様少式氏の一門で、少式家没落後、

前回、紹介した篩を使って「フルイ通し」が終わると、処方箋に基づいて調剤・調合を行います。

さお秤・天秤はその時に使う道具で、薬の原料の形態や用途により色々な種類があります。中でもリンバカリ（厘計り）は、度量衡



正確な計量に用いられた両替天秤（中富記念くすり博物館収蔵）

筑紫家を頼り家臣になったものと思われ、長岡城（筑紫野市）や味坂城（小郡市）の城主を務めていたことが知られています。高原氏は筑紫氏の古くからの家臣のよう

で、関ヶ原合戦の大津城攻めでは一番乗りをはたし比類なき手柄をたてたと言われています。田尻氏は筑後の田尻家老筋の者と記されており、おそらく広門が八女一万八千石の領主であったころ、家臣に加わったものと考えられます。筑紫姓の者が十一人いますが、いずれも広門代の一門衆で康門と房門が勝尾城時代の家老、晴門が

に合った非常に精密なものです。さらさらを盤、さおを衡、おもりを権または錘と呼びます。

写真の天秤は両替天秤と呼ばれ、縦二七・五cm×横七九cm×高さ八〇cmで、木製です。江戸時代のもので、本来は両替屋（商）が貨幣の両替に使っていたものです。分銅が多く正確に計れることから、薬屋でも転用していました。

粉末を計る秤は小型の竿秤で、リンバカリと呼びます。小さく携

高取城（鳥栖市）、大炊が荒平城（福岡市）、了保が白水城（春日市）の城主。また四郎右衛門は八女時代の家老、源右衛門は組頭を務めたことが知られています。



晴門が城主を務めた高取城跡

消えゆく民具

【売薬用具編】

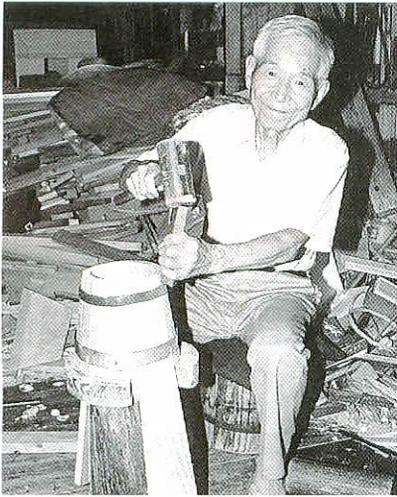
VOL.93 ● さお秤・天秤

帯に便利で精度も高く、竿は象牙や漆塗りの凝ったものが多く、日盛りは螺鈿のものが多く見られます。また、受皿や分銅は真鍮で作られています。薬は古くから貴重なもの、分量が大切です。普通はさお秤で計りますが、分量が大量で正確な重さを計るときなどは、この両替天秤を使っていたようです。現在はこのようなものは使わず、計量器などを用います。

樽づくりひびと筋に70年

結納や上棟式、当選祝いなど祝い事によく似合うのが角樽。江藤桶角樽店の約50㎡の作業場には樽の材料や作りかけが所狭しと置かれ、天井からは裂いて丸めた竹の輪が吊られています。江藤春治さん（84歳、本鳥栖町）は、今でもここで角樽を作り続けています。

日田市に生まれ、十三歳で久留米市の酒桶製造所に弟子入り。北茂安町の造り酒屋に住み込みながら、先輩から酒米を仕込む桶作りを教わりました。吉野杉を使ったこの桶は高さ約二メートルの円筒形で、一度に酒米二十三石（四・一四kl）を仕込むことができました。



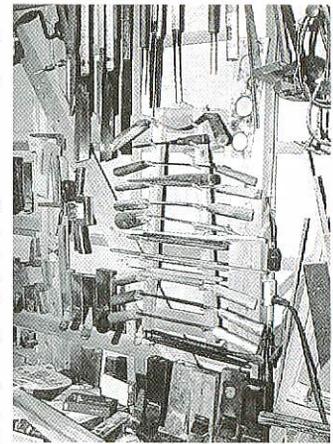
84歳になった今も角樽作りに励む江藤さん

二十歳で独立した後、市内の造り酒屋から注文を受けては、若い職人と二人で年間十二、三十個を製作。しかし、今ではこの桶もほとんど見かけなくなっています。

昭和二十六年に市内に居を移してからは、酒桶作りのかわら角樽をはじめ、風呂桶やたらい、漬物桶、肥し桶などを作りました。桶製造店が市内に七軒あった昭和三十、五十年代には、年間角樽三百個、風呂桶三十個を製作したといえます。しかし今では、ローローやプラスチック製品の普及とともに五十個ほどの角樽を作るのみ。

角樽の材料は近畿地方産の杉やサワラで、仕入れは主に大阪の間屋から。樽の周囲を締めると「タガ」には、十月ごろに切り取った脊振や日田産の真竹を使います。角樽の形を支える竹

の輪は全部で七本、一番上が「口輪」、二段目から六段目が「胴輪」で、一番下は水漏れを防ぐのに最も大切な働きをする



壁に架けられた工具の数々

「なき輪」。縦に細長く裂いた真竹を螺旋状に巻きつけ、六回まわしたものが一本です。

工程は、まず材料の木片を曲がった刃を持つ「セン」で円筒形のカーブに合わせて荒削り。樽の直径、内面と外面でそのカーブは当然異なり、用途によって二十種類のカーブを使い分けします。

樽で大切なことは、やはり漏れないことですね。樽を形作る木片と木片の接する面は、長さ二・七mの平らな木製の板（「正直」という）に固定させた平カンナの上を前後にスライドさせ、面と面が密着するように丁寧に削ります。その面を竹釘と接着剤で張り合わせ、金属の輪で仮締めした後、一週間ほど乾燥。樽の内側と外側を曲線の刃を持つ特殊なカンナで表面を仕

上げ、竹で編んだタガで胴を締めつけます。とって（横手）を穴に通して蓋をかぶせて木口を削ると形は出来上がり、専門の業者に漆塗りを外注して完成です。

角樽の販売先は福岡市や久留米市にある造り酒屋専門の間屋。江藤さんの角樽作りは一日一個が限度。「今は健康維持のために作っています」。

DISCOVER TOSU

ふるさと再発見

Vol. 25



市の木もちのき（クログネモチ）

市の花 ハナショウブ

市の鳥メジロ

人口	平成9年10月1日現在		
総数	男	女	世帯数
57,840(+98)	27,818(+31)	30,022(+67)	19,006(+53)

11月の納税	
国民健康保険税（6期分）	納期限●12月1日 (口座振替は11月28日引き落とし)

水道の修繕
鳥栖市管工事協同組合 ☎84-2500
●水道の修繕はすべて上記へお申し込みください

「市報とす」は再生紙を使用しています